

平成27年10月25日

愛知県環境部長殿

愛知県新城市 高岡代表区長 中村正昭

愛知県新城市 黒田区長 伊藤公雄

愛知県新城市 一織田又長 中西忠史

愛知県新城市東清水野区長 森田敏行

(有)タナカ興業新城工場(申請中)に係る技術的な懸念事項について(その5)

前略 このことについて(その5)を提出します。

タナカ興業の新城の施設、特に脱臭装置について、具体的なデータが無いので外観やこれまでのパナソニック環境エンジニアリングからの回答を基にいろいろと心配をしています。8月20日のお話しでは、県から脱臭装置メーカーやそのユーザーには直接、照会・確認することはないとのことでしたので、当方でユーザーである新発田市から風量データを頂いて下表のように考察しましたが、理解不能でした。

県は事業者から具体的なデータの提出を受けていると思いますので、下記の視点から検証をお願いします。

【表】新発田市の施設との比較

発酵施設	米倉	板山	加治川	タナカ興業
処理量	30t/day	30t/day	20t/day	120t/day
風量	163 m <sup>3</sup> /min	163 m <sup>3</sup> /min	120 m <sup>3</sup> /min	223 m <sup>3</sup> /min
1t当たり風量	5.43 m <sup>3</sup> /min	5.43 m <sup>3</sup> /min	6 m <sup>3</sup> /min	1.85 m <sup>3</sup> /min

【考察】

1t当たり風量は、新発田市施設 5.43 m<sup>3</sup>/min、タナカ興業施設(パナ環の設計)は 1.85 m<sup>3</sup>/min で新発田市施設の 30%しかない。

タナカ興業施設の風量を新発田市の風量なみに計算すると 5.43 m<sup>3</sup>/min×120t/day = 652 m<sup>3</sup>/min となり、パナ環の設計 223 m<sup>3</sup>/min は新発田市施設の 34%、どちらもタナカ興業の施設は小さすぎることになります。

タナカ興業の既設建屋は 51m×27m = 1,377 m<sup>2</sup> フードで囲う部分を 25%と仮定すると 344 m<sup>2</sup>(開口面積)×1m/sec(開口面速度)×60 = 20,640 m<sup>3</sup>/min となってしまいます。223 m<sup>3</sup>/min から逆算するとフードで囲う面積は 3.7 m<sup>2</sup>と理解不能の数値になります。

-----Original Message-----

Sent: Wednesday, October 7, 2015 4:46 PM

Subject: 脱臭槽の処理風量について(回答)

三浦様

昨年の8月には、遠路新発田までお越しいただきありがとうございました。いま新発田では稲の収穫も終わり、朝晩の冷え込みにより暖房が恋しい季節となりました。

さて、このたび脱臭槽の処理風量について、お問い合わせをいただいたにも拘わらず回答が遅くなり、大変申し訳ありませんでした。遅ればせながら8センターの脱臭槽の処理風量について回答させていただきます。

○米倉 163/min, モーター出力:18.5kw×2台

○板山 163/min, モーター出力:18.5kw×2台

○加治川 120/min, モーター出力:15kw×2台

※この数値は、脱臭槽の点検業者に確認してもらったものです。

新発田市農水振興課 馬場